



尼崎医療生協 7月豪雨災害支援ニュース

第3号 2018年8月6日

尼崎医療生活協同組合

第3陣より、車での移動にて7名名が参加しました

8月4日、岡山市真備町箭田（やだ）地区に行きました。6時出発→7時45分（インター休憩）→8時45分着（ボランティアセンター玉島の森）受付後バスで現場へ移動します。

車内で熱中症予防の説明あり（5人1組でリーダーとタイムキーパーを決め、20分まで作業したら、10分は休憩する、必ず守って下さい。水分は2L以上持参して、飲用する。食事は現場で取る）

9時45分、現場の真備町箭田に到着して、現地の支援の説明を聞き、2グループ10人（男性7人・女性3人）でボランティアの必要な方へTELして「何か必要か？」確認後自分たちでグーグルで探して移動、約15分ぐらい歩きました。現場の自宅では、畳出しの依頼があり、2F・1Fの分、約10枚ほど出しましたが、泥を吸って、カビっていました。男性4人がかりでも、大変でもやっとの重さでした。後は泥出しをしました。ほんと、暑いので、アラームをかけて、みんなで声出し合って、知らない方同士でも声かけあって、作業時間としては10時半～1時（休憩を入れたら、2時間が限界ですね）

現場で昼食30分取って、13時に終えて、最初集合場所へ戻りました。（気温37度）※20分が限界ですね、無理してこれ以上すると熱中症になりますね。水分補給やかき氷なども用意してくれていました。13時45分バスに戻り、ボランティア受付へ戻りました。15時銭湯へ16時時出発して、ノンストップで運転し、18時30分生協病院へ到着しました。無事に7人帰ってこれました。

小クーラーBOXに水分を凍らして、持参した方がいいと思いました。（OS-1は凍らしてダメです）

今後も中々、この暑さで進まないと思うので、息の長い支援が必要ですし、熱中症対策が先陣に学びで生かされていると思いました。 第3陣団長より



7/31 現在支援募金額 266,563 円

内、10万円を全日本民医連通じて義捐金としてお送りしました